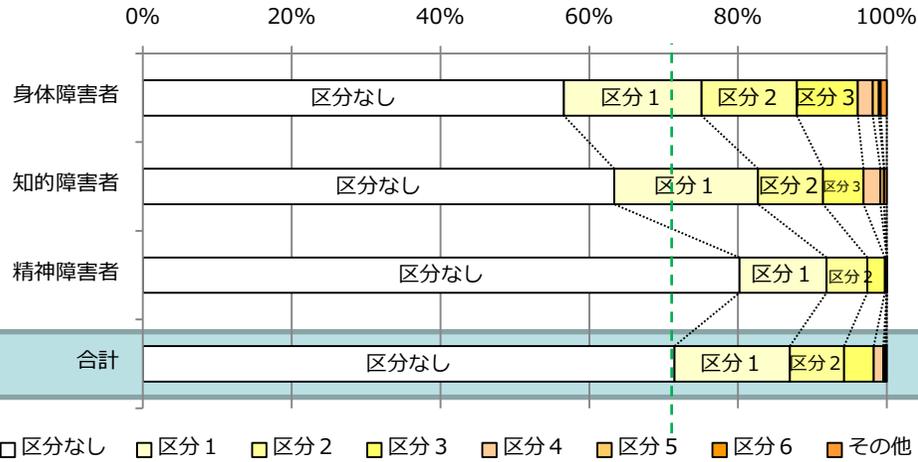


グループホーム

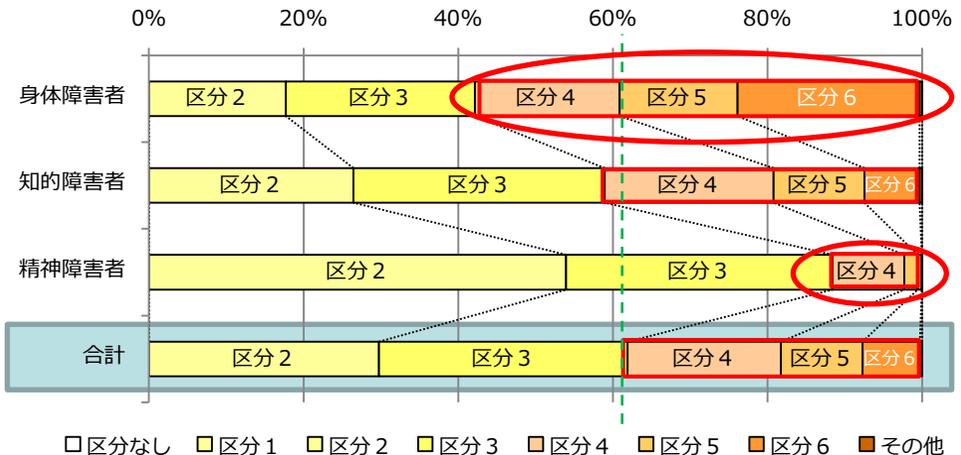
- ★ 区分なしの利用者が全体の7割以上を占める。一方、区分2以上の者も1割程度利用している。
- ★ 障害種類別にみると、身体障害者は区分認定を受けている利用者が4割以上であるのに対して、精神障害者は2割程度と大きな差異がみられる。



障害程度区分	身体障害者		知的障害者		精神障害者		合計	
	利用者数	構成割合	利用者数	構成割合	利用者数	構成割合	利用者数	構成割合
区分なし	477	56.6%	7,934	63.4%	10,456	80.2%	18,867	71.4%
区分1	156	18.5%	2,420	19.3%	1,524	11.7%	4,100	15.5%
区分2	108	12.8%	1,095	8.7%	716	5.5%	1,919	7.3%
区分3	69	8.2%	681	5.4%	307	2.4%	1,057	4.0%
区分4	17	2.0%	285	2.3%	31	0.2%	333	1.3%
区分5	7	0.8%	57	0.5%	2	0.0%	66	0.3%
区分6	2	0.3%	9	0.1%	0	0.0%	11	0.0%
その他	7	0.8%	41	0.3%	0	0.0%	48	0.2%
障害児	-	-	-	-	-	-	7	0.0%
合計	843	100.0%	12,522	100.0%	13,036	100.0%	26,408	100.0%
程度区分の平均	0.8		0.6		0.3		0.5	

ケアホーム

- ★ 区分4以上の利用者が全体の約4割を占める。
- ★ 障害種類別にみると、身体障害者は区分4以上の利用者が約6割であるのに対して、精神障害者は、1割程度と大きな差異がみられる。



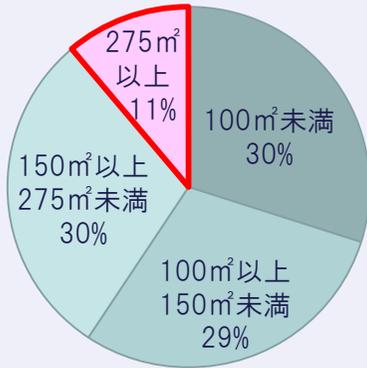
障害程度区分	身体障害者		知的障害者		精神障害者		合計	
	利用者数	構成割合	利用者数	構成割合	利用者数	構成割合	利用者数	構成割合
区分なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
区分1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
区分2	740	17.7%	11,432	26.5%	4,276	54.0%	16,448	29.7%
区分3	1,021	24.5%	14,035	32.5%	2,730	34.4%	17,786	32.2%
区分4	782	18.7%	9,450	21.9%	735	9.3%	10,967	19.8%
区分5	636	15.2%	5,079	11.8%	139	1.8%	5,854	10.6%
区分6	984	23.6%	3,075	7.1%	42	0.5%	4,101	7.4%
その他	13	0.3%	140	0.3%	3	0.0%	156	0.3%
障害児	-	-	-	-	-	-	9	0.0%
合計	4,176	100.0%	43,211	100.0%	7,925	100.0%	55,321	100.0%
程度区分の平均	4.0		3.4		2.6		3.3	

グループホーム・ケアホームの利用建物の状況

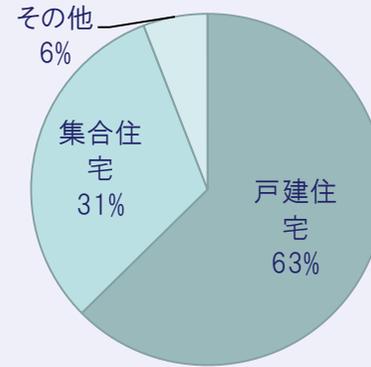
グループホーム・ケアホームの共同生活住居の建物の形態は、戸建住宅が62.6%(9,589住居)、集合住宅が31.5%(4,825住居)、その他が5.9%(897住居)となっており、利用建物の面積は、275㎡未満が約9割(13,401住居)となっている。

また、共同生活住居のうち74.9%(11,443住居)が既存建物を活用しており、建物の所有関係をみると、賃貸の割合が71.0%(10,843住居)となっている。

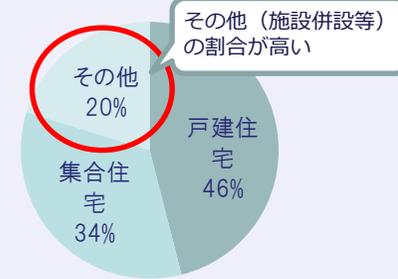
面積



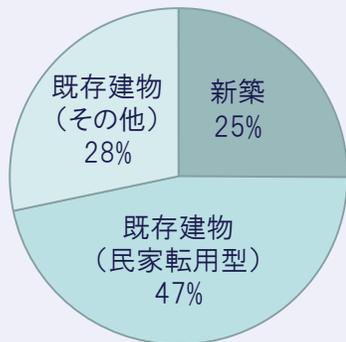
建物形態



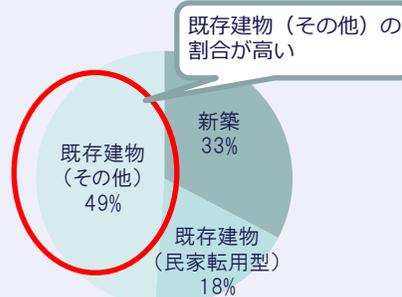
(参考) 275㎡以上



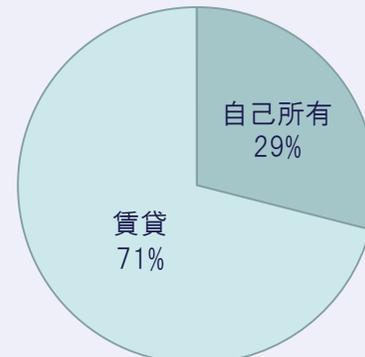
新築・既存建物活用の別



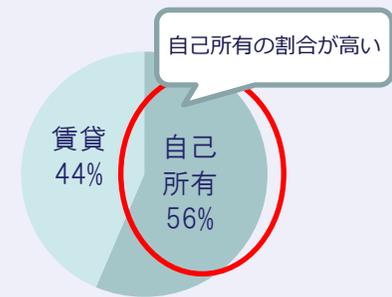
(参考) 275㎡以上



所有関係



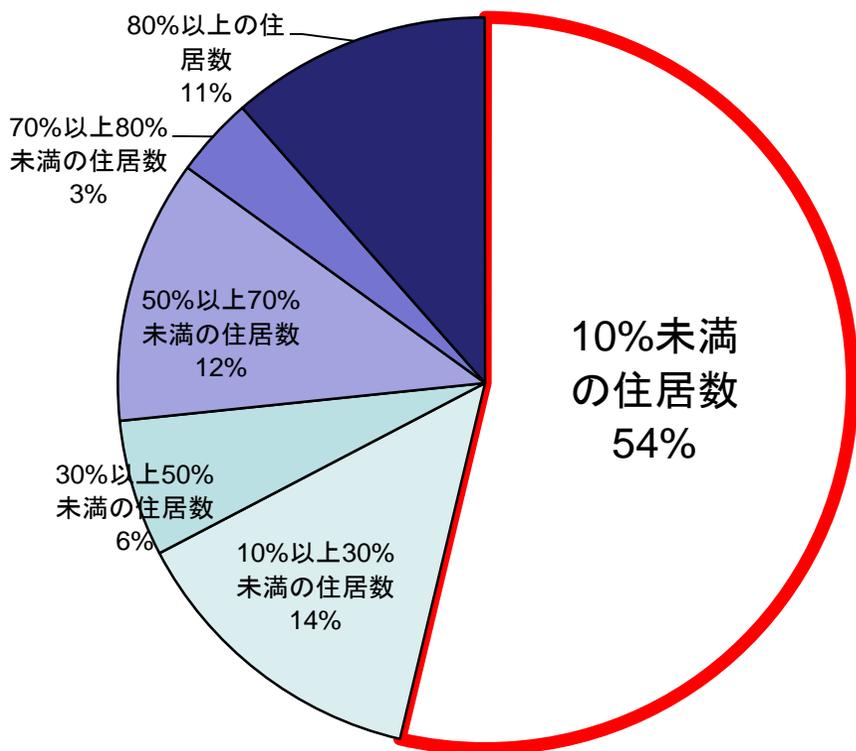
(参考) 275㎡以上



グループホーム・ケアホームの共同生活住居ごとの入居者の状況

グループホーム・ケアホームの共同生活住居の入居者のうち、重度(障害程度区分4以上)の障害者が占める割合をみると、平均で25.2%となっている。

その分布をみると、入居者の半数以上が重度である共同生活住居は、全体の26.5%(4,070住居)となっており、1割未満の共同生活住居が53.4%(8,189住居)となっている。



重度(障害程度区分4以上)の者の占める割合の平均 25.2%

重度(障害程度区分4以上)の障害者が占める割合	全 体		275㎡以上	
	共同生活住居数	割合	共同生活住居数	割合
10%未満の住居数	8,189	53.4%	933	55.6%
10%以上30%未満の住居数	2,074	13.5%	272	16.2%
30%以上50%未満の住居数	988	6.5%	119	7.1%
50%以上70%未満の住居数	1,782	11.6%	153	9.1%
70%以上80%未満の住居数	536	3.5%	49	2.9%
80%以上の住居数	1,752	11.4%	152	9.1%

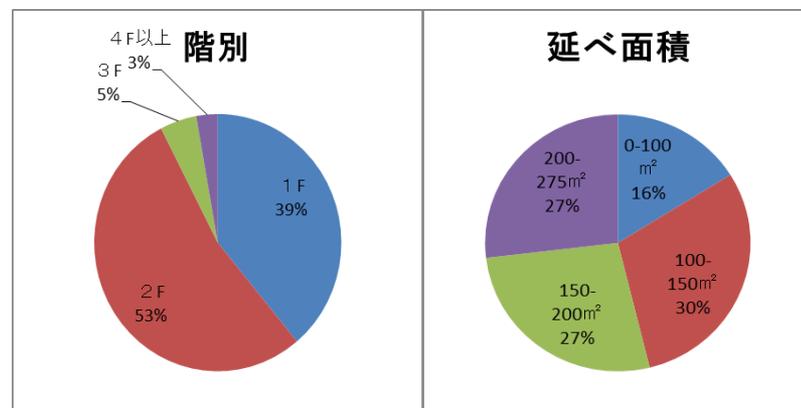
小規模障害者施設の規模特性について

小規模障害者施設の面積別、階層別の件数は表－1及び図－1～3のとおりである。
傾向として

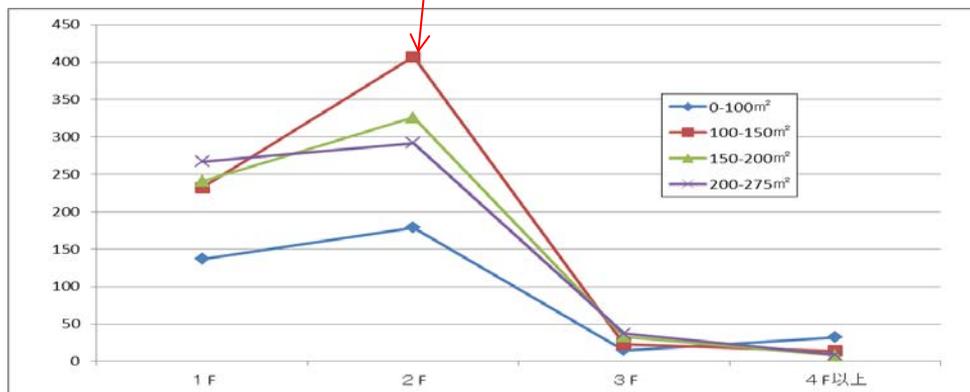
- ①福祉施設が存する階(最上階)は2階が一番多く、1階及び2階で90%以上を占める。
- ②延面積では100㎡以上のものが84%を占める。
- ③もっとも多い規模は最上階が2階で100㎡以上150㎡未満のものである。
- ④スプリンクラー設備の設置(任意)は延面積と比例しており、200㎡以上では20%以上を占める

表－1 <延べ面積及び階層(福祉施設が存する最上階)ごとの集計>

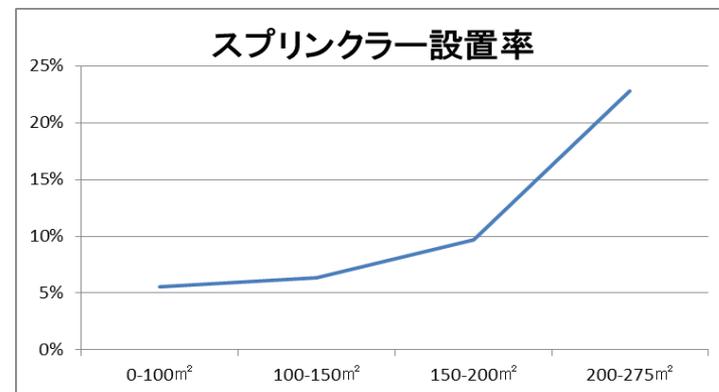
	0-100㎡	100-150㎡	150-200㎡	200-275㎡	小計
1F	137	232	241	267	877
2F	179	407	326	292	1204
3F	15	23	33	37	108
4F以上	32	14	8	9	63
小計	363	676	608	605	2252



図－1 <延面積及び階層ごとの割合>



図－2 <延面積及び階層毎の件数>



図－3 <延面積ごとのスプリンクラー設備の設置率>